

2011(平成23)年9月実施

# 第40回 足立区政に関する世論調査 《概要版》

足立区では、昭和47年から区民の方を対象とした世論調査を実施しており、今回は第40回目の調査の概要をお知らせします。調査結果は、区政運営のための基礎資料として活用してまいります。今回の実施にあたり、ご協力いただいた区民の方々に心からお礼を申し上げます。なお、調査の全容は「第40回足立区政に関する世論調査」として区のホームページ、区内の各図書館及び区役所区政資料室でごらんいただけます。

今回の調査では、3月11日の『東日本大震災』にともなう影響および、災害に対する認識をお聞きするために、「災害対策」、「東日本大震災」、「耐震診断、耐震改修」、「浸水被害に備え意識していること」の災害に対する質問を行いました。また、新たなテーマとして「自殺対策」、「高齢者等に対する介護」についてお聞きしています。

回答の中では、避難所の認知度は【一時集合場所】が55.0%、【広域避難場所】が48.4%、【小中学校等の避難所】が59.5%と5割ほどになっています。また、耐震基準の見直しが行われた昭和56年5月以前に建築された建物が30.2%あり、今後の耐震対策が課題となっています。

## 調査の概要

対象者…… 20歳以上の区民  
対象者の抽出…… 単純無作為抽出法  
対象者数…… 3,000人  
調査方法…… 郵送配布郵送回収法  
回収数(率)…… 1,623人(54.1%)  
調査時期…… 2011(平成23)年9月

定住性

災害対策

東日本大震災

耐震診断、耐震改修

浸水被害に備え意識していること

保健・医療

自殺対策

高齢者等に対する介護

「ビューティフル・ウィンドウズ運動」

人権

区政



2012(平成24)年3月

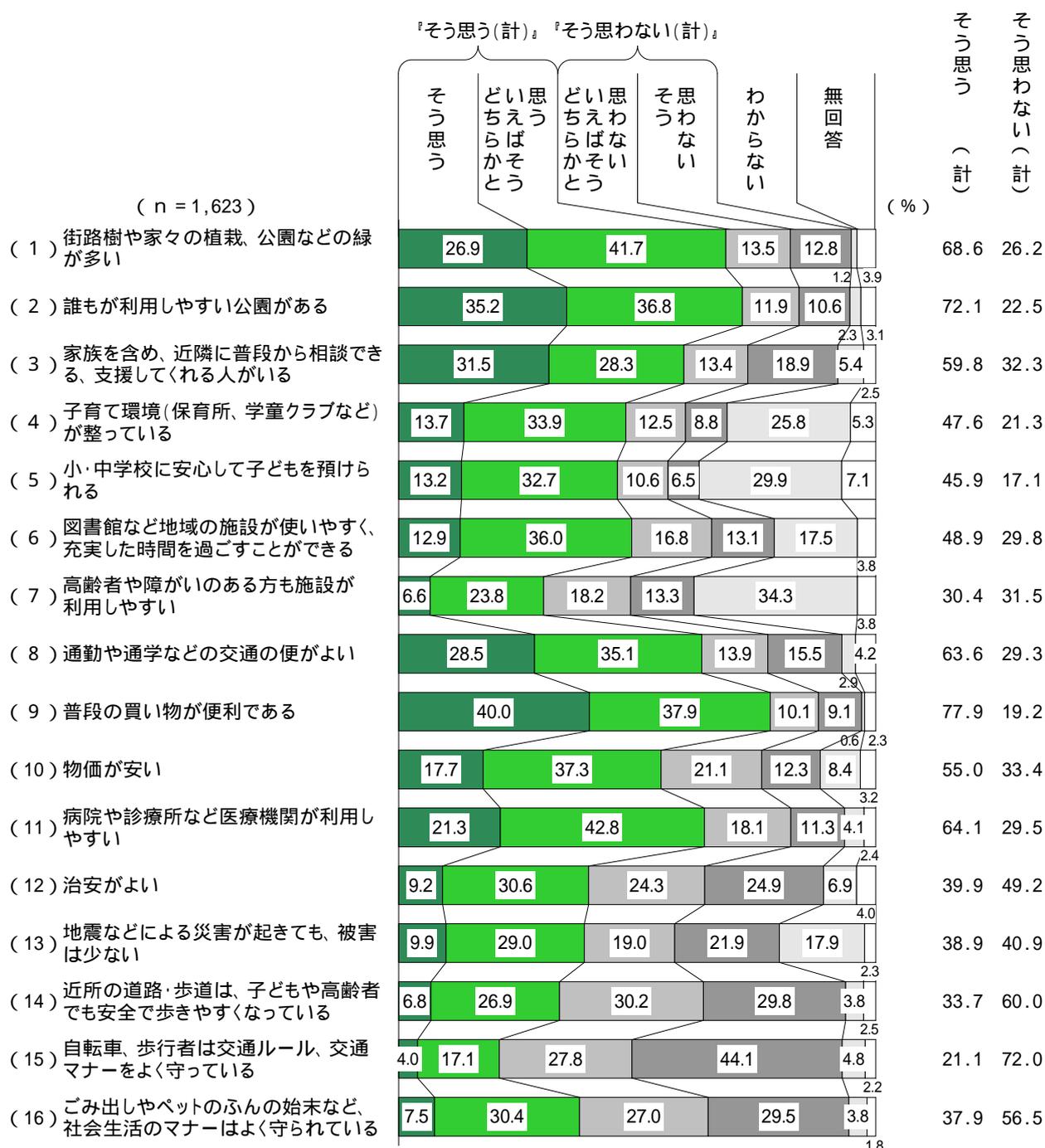
足立区

# 定 住 性

お住まいの地域についての感じ方については、【普段の買い物が便利である(77.9%)】、【誰もが利用しやすい公園がある(72.1%)】と思う人が多くなっています。一方、【自転車、歩行者は交通ルール、交通マナーをよく守っている(72.0%)】、【近所の道路・歩道は、子どもや高齢者でも安全で歩きやすくなっている(60.0%)】とは思わない人が多くなっています。いずれの回答も居住地域や年齢・性別などによる差が見られます。

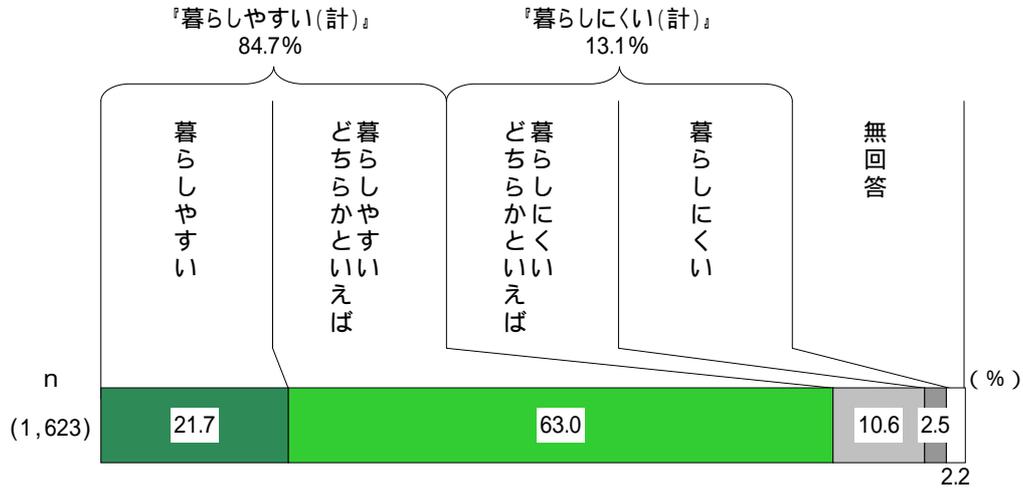
## お住まいの地域についての感じ方

- ・【普段の買い物が便利である】と思う人が77.9%
- ・【自転車、歩行者は交通ルール、交通マナーをよく守っている】と思わない人が72.0%



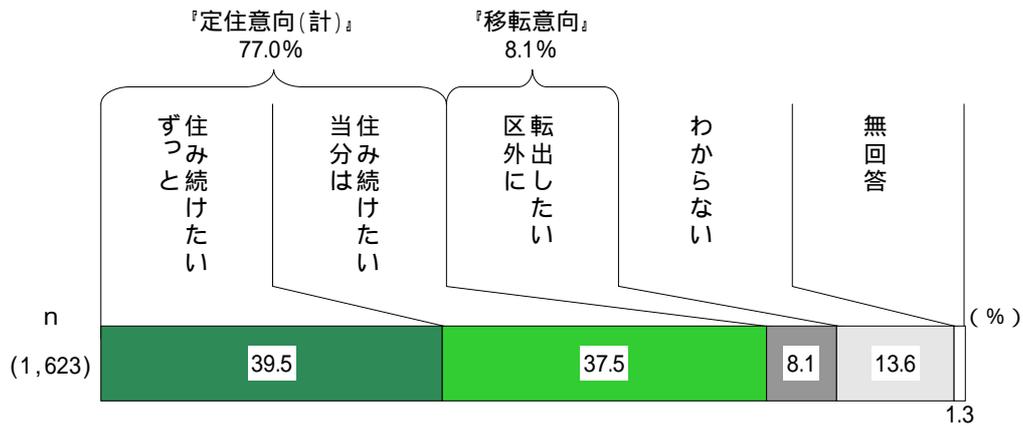
## 総合的な暮らしやすさ

- 『暮らしやすい』と感じている人が84.7%を占めています



## 定住・移転意向

- 『定住意向』を77.0%の人がもっています



参考1：百分比（%）と百分比（%）を合わせる場合、本来の実数値を合わせて算出した百分比を記しているため、その百分比は紙面上の百分比の合計と合わない場合があります。

2：図中にあるnは回答者総数のことです。

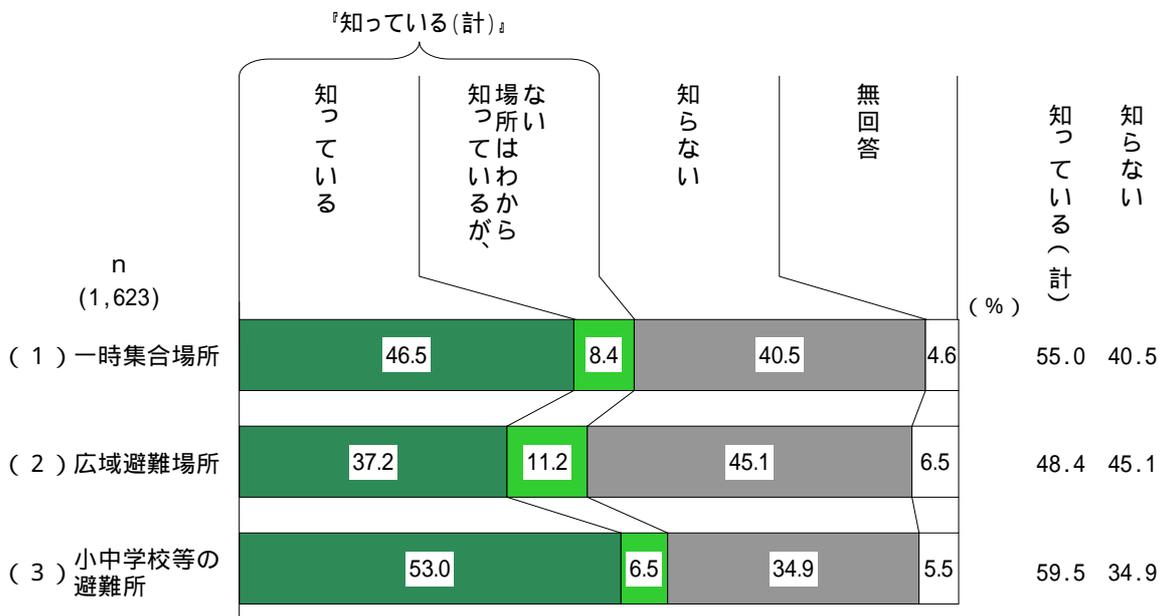
3：表題に（複数回答）と表記されている場合は、回答数に制限がないことを意味しています。

## 災害対策

避難所の認知度は、【小中学校等の避難所（59.5％）】、【一時集合場所（55.0％）】、【広域避難場所（48.4％）】の順となっており、【一時集合場所】と【広域避難場所】では、低い年代で認知度の低さが見られます。また、町会や自治会の防災訓練への参加は20.0％で、低い年代で防災訓練の実施を知らない状況が見られます。

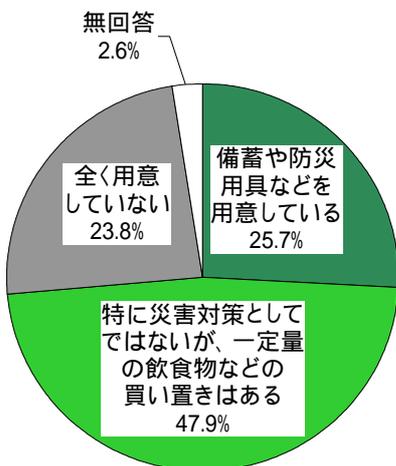
### 一時集合場所・広域避難場所・小中学校等の避難所の認知度

- 避難所を『知っている』人は、【小中学校等の避難所】が59.5％、【一時集合場所】が55.0％、【広域避難場所】が48.4％と5割ほどになっています



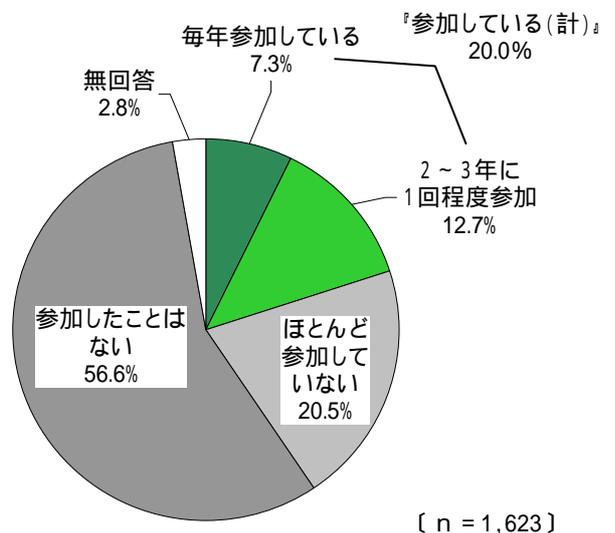
### 備蓄や防災用具などの用意

- 「特に災害対策としてではないが、一定量の飲食物などの買い置きはある」が47.9％を占めています



### 町会や自治会の防災訓練への参加状況

- 『参加している』人は20.0％にとどまっています

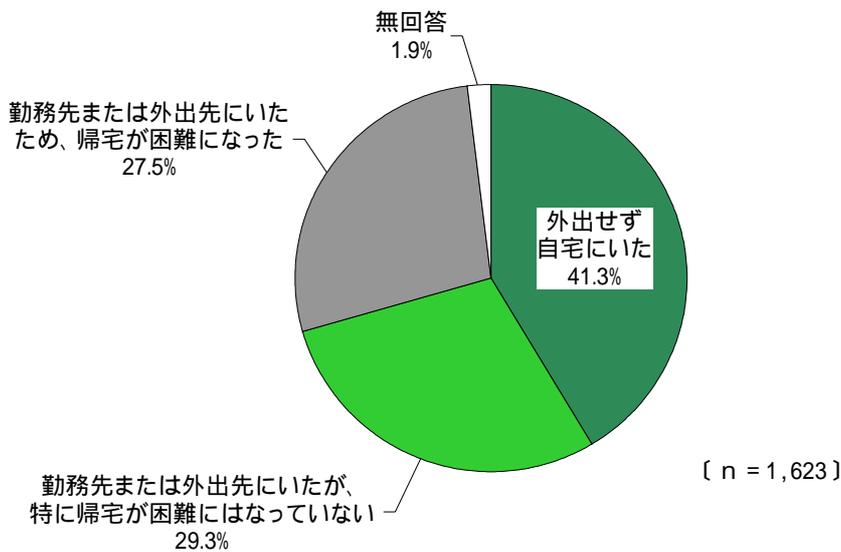


## 東日本大震災

3月11日の地震発生時の外出の有無、帰宅状況では、「勤務先または外出先にいたため、帰宅が困難になった」人は全体では27.5%でしたが、足立区外で就労、就学されている人では6割を超えました。また、震災発生の際に遭遇したことで、「通信手段の途絶（電話・メールなど）」が特に高く、20代から50代の年代で高くなっています。

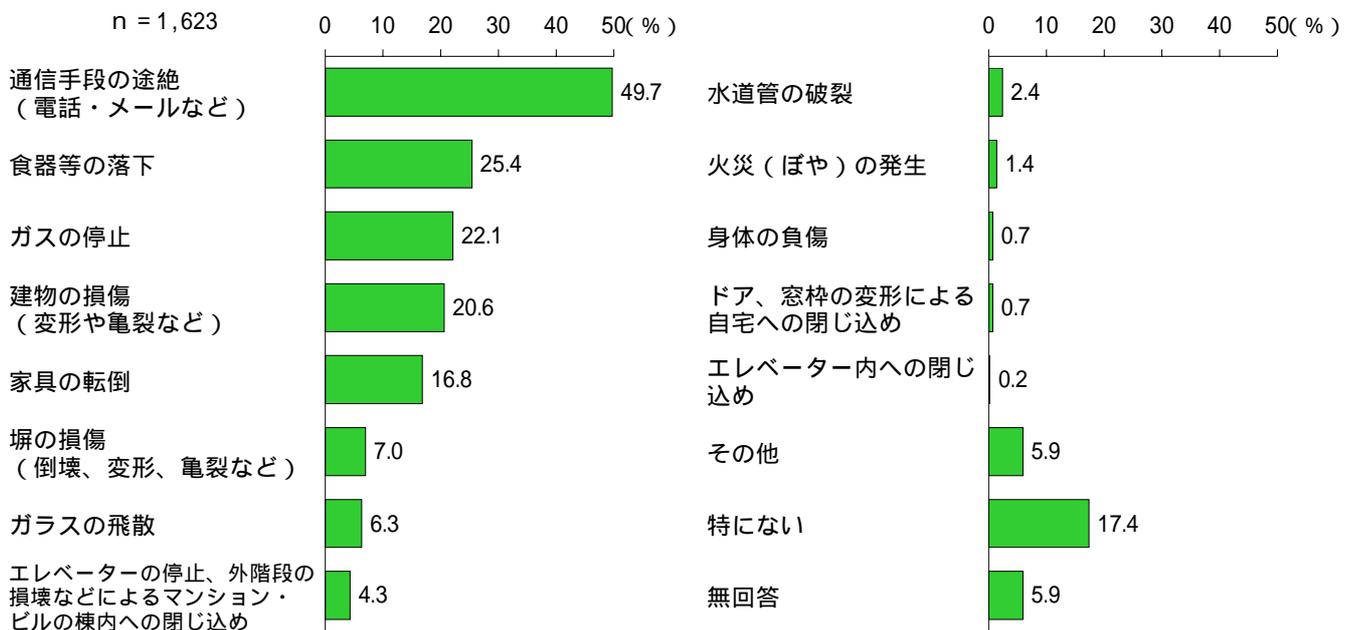
### 3月11日の地震発生時の外出の有無、帰宅状況

- ・「勤務先または外出先にいたため、帰宅が困難になった」人は27.5%におよびます



### 震災発生の際に遭遇したこと（複数回答）

- ・「通信手段の途絶（電話・メールなど）」が49.7%で最も高くなっています



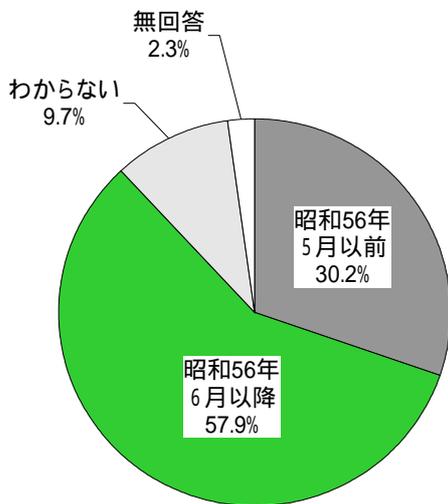
## 耐震診断、耐震改修

お住まいの建物の建築時期では、耐震基準の見直しが行われた「昭和56年5月以前」の建物が30.2%で、公団・公社・都営住宅・区営住宅で多く見られます。

また、耐震診断の実施状況は20.4%、耐震改修工事の実施状況は14.3%にとどまっています。さらに、耐震診断費用や耐震改修工事費用の助成制度の認知度は、どちらも20%以下で、認知度の向上により耐震診断と耐震改修工事が実施されていくことが期待されます。

### お住まいの建物の建築時期

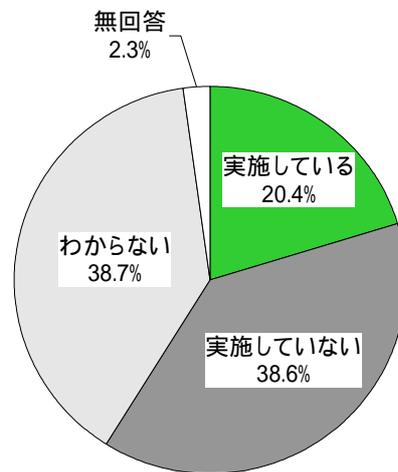
- ・「昭和56年6月以降」が57.9%を占めています



[ n = 1,623 ]

### お住まいの建物の耐震診断の実施状況

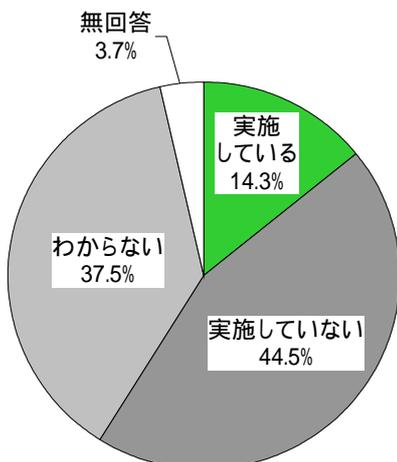
- ・「実施している」人は20.4%にとどまっています



[ n = 1,623 ]

### お住まいの建物の耐震改修工事の実施状況

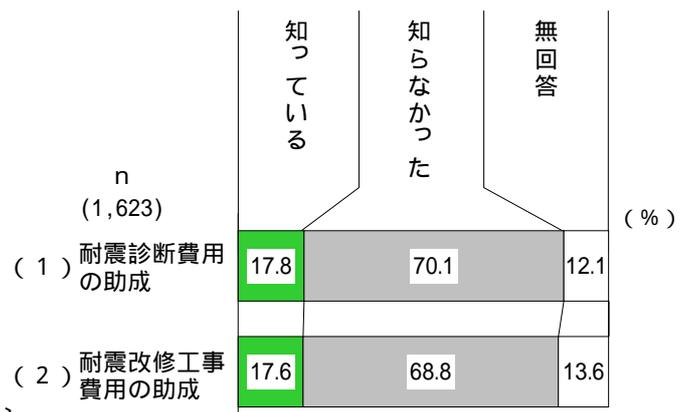
- ・「実施している」人は14.3%にとどまっています



[ n = 1,623 ]

### 耐震診断費用や耐震改修工事費用の助成制度の認知度

- ・「知っている」人は20%以下にとどまっています

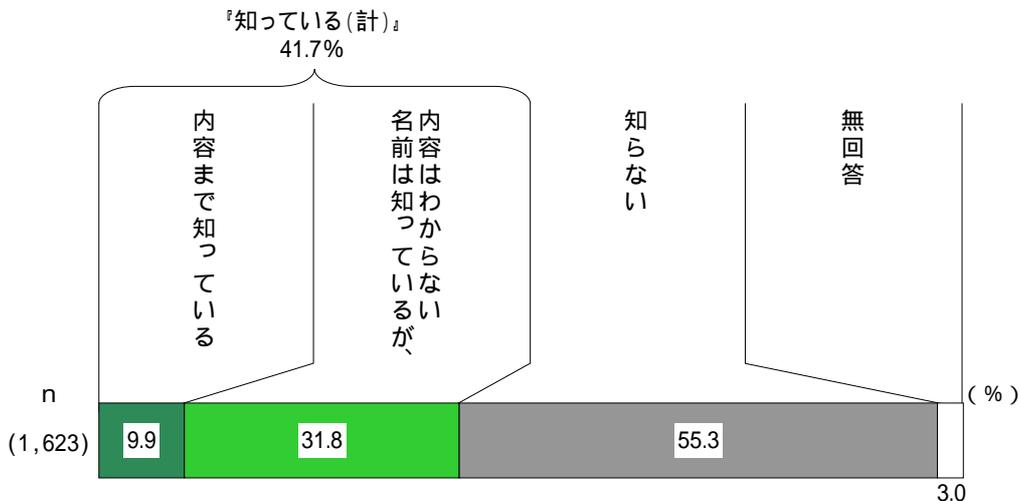


## 浸水被害に備え意識していること

「足立区洪水ハザードマップ」の認知度は41.7%で、居住地域により認知度の差が見られます。また、水害に備えた気象情報・水害の危険情報などの取得については、【大雨などのおそれがあるときは、携帯電話、パソコンやテレビ、ラジオなどを使って情報を取得している】人が77.1%で、多くの人が気象情報に注意していることがうかがえます。

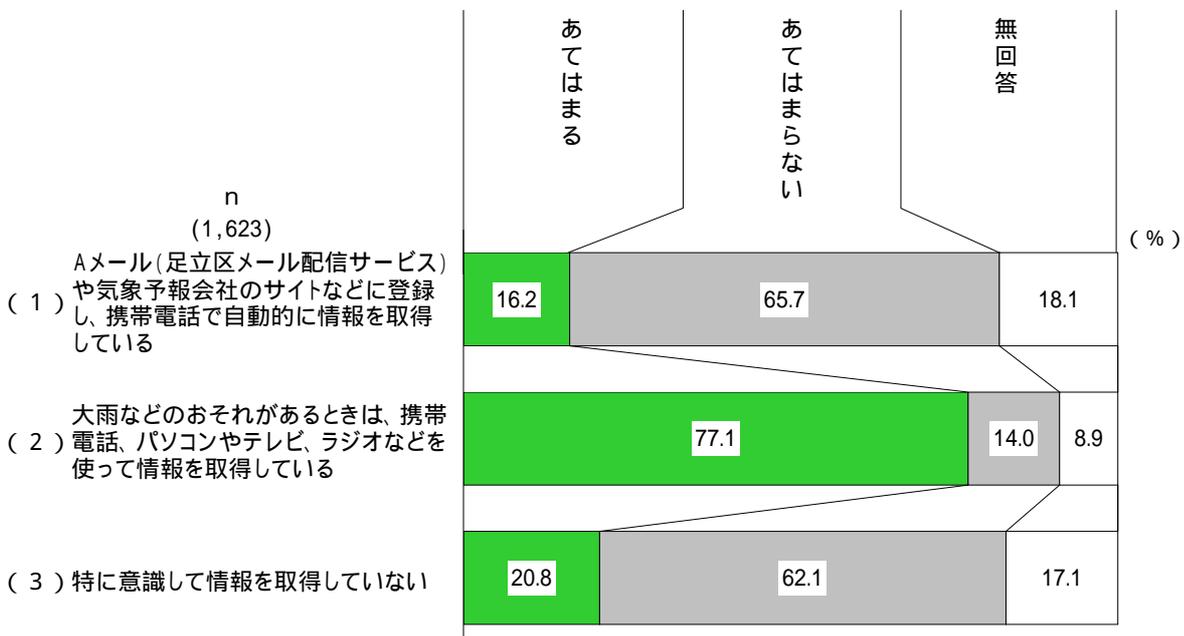
### 「足立区洪水ハザードマップ」の認知度

- ・『知っている』人が41.7%、「知らない」人が55.3%となっています



### 水害に備えた気象情報・水害の危険情報などの取得について

- ・【大雨などのおそれがあるときは、携帯電話、パソコンやテレビ、ラジオなどを使って情報を取得している】人が77.1%を占めています



## 保健・医療

保健と医療についての実施状況では、「毎年健康診断を受けている（60.6%）」と「食品などの保管方法や調理前の手洗い・きれいな調理器具を使うなど、食中毒予防のための注意をしている（60.4%）」が特に高くなっています。また、「毎年健康診断を受けている」人は男性で多く、「食品などの保管方法や調理前の手洗い・きれいな調理器具を使うなど、食中毒予防のための注意をしている」人は女性で高くなっています。

### 保健と医療について（複数回答）

- ・「毎年健康診断を受けている（60.6%）」と「食品などの保管方法や調理前の手洗い・きれいな調理器具を使うなど、食中毒予防のための注意をしている（60.4%）」が高くなっています

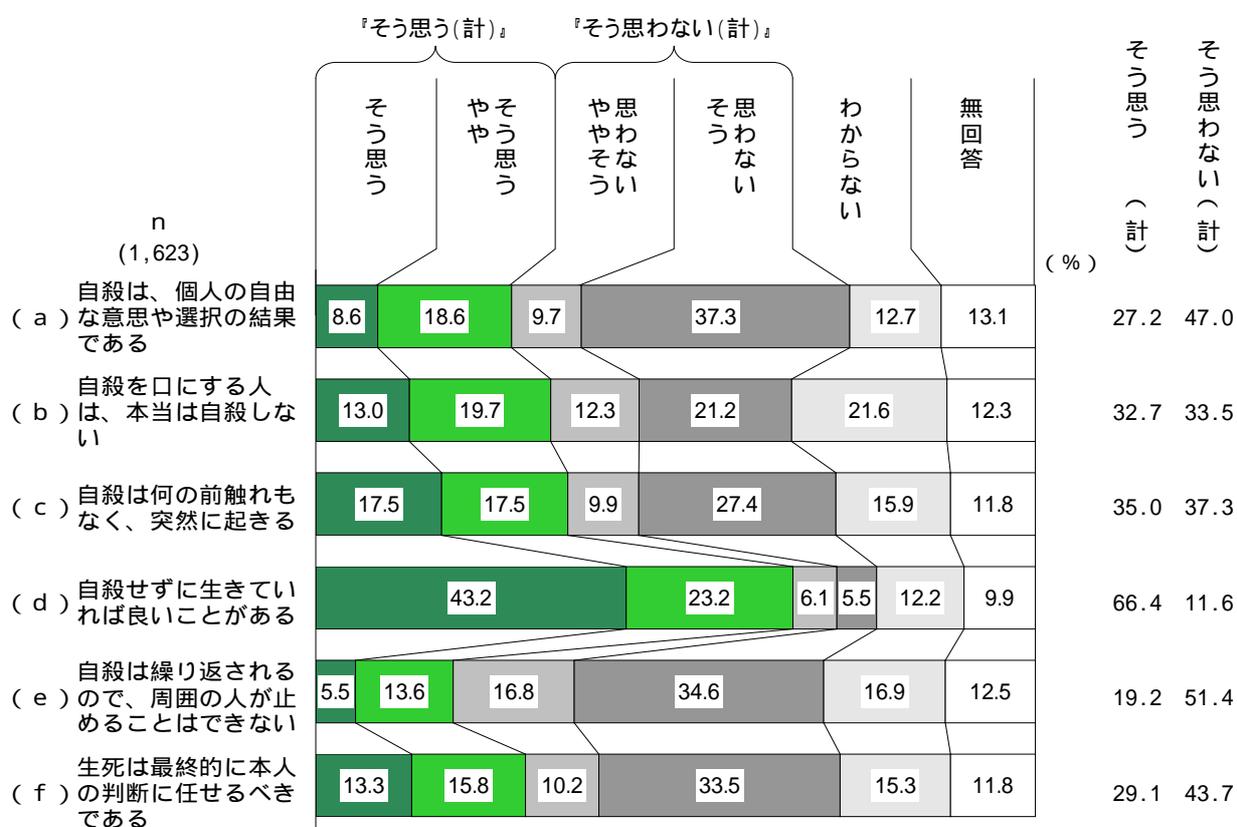


## 自殺対策

自殺についての考えでは、【自殺は繰り返されるので、周囲の人が止めることはできない】については、『そう思わない』(51.4%)が5割を超え、【自殺は、個人の自由な意思や選択の結果である】(47.0%)、【生死は最終的に本人の判断に任せるべきである】(43.7%)も『そう思わない』がそれぞれ4割を超えています。  
また、本気で自殺したいと考えたことがある人は18.9%におよんでいます。

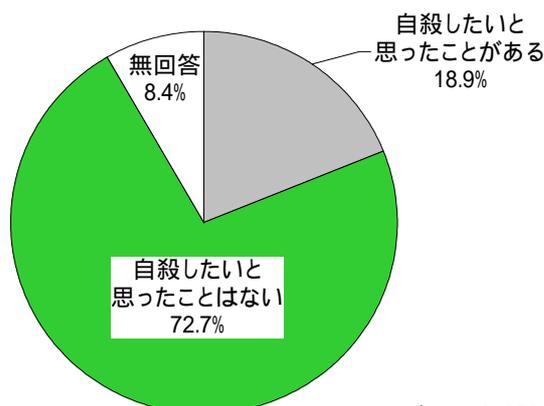
### 自殺についての考え

- ・【自殺は繰り返されるので、周囲の人が止めることはできない】とは思わない人が5割を超えています



### 本気で自殺したいと考えたことがあるか

- ・「自殺したいと思ったことがある」人は18.9%におよびます



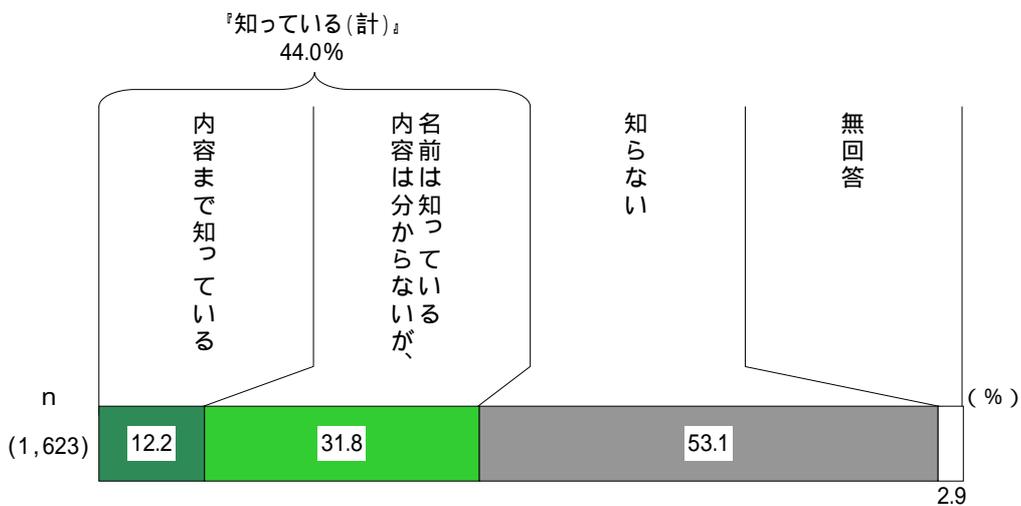
[ n = 1,623 ]

## 高齢者等に対する介護

「成年後見制度」の認知度では、『知っている』人が44.0%を占め、特に高い年代で認知度が高くなっています。また、介護が必要な家族いるかでは、「現在、介護が必要な家族がいる」が12.1%、「近い将来（5年以内くらい）にそのような状態になる可能性がある」が16.0%となっています。

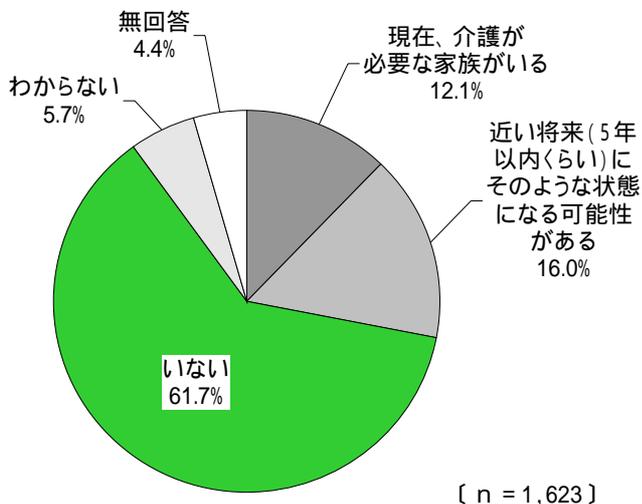
### 「成年後見制度」の認知度

- ・『知っている』人が44.0%、「知らない」人が53.1%となっています



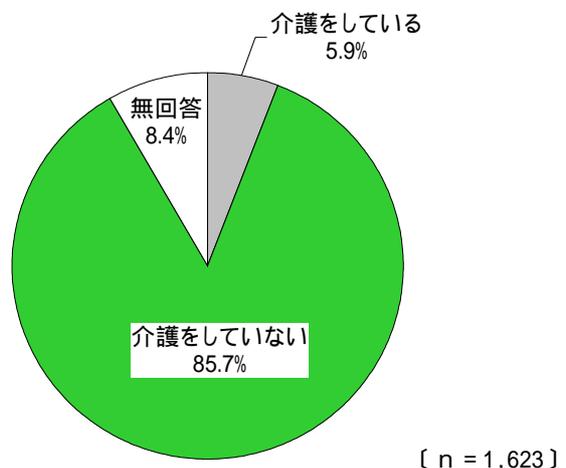
### 介護が必要な家族がいるか

- ・「現在、介護が必要な家族がいる」人が12.1%におよびます



### 介護をしているか

- ・「介護をしていない」人が85.7%を占めています

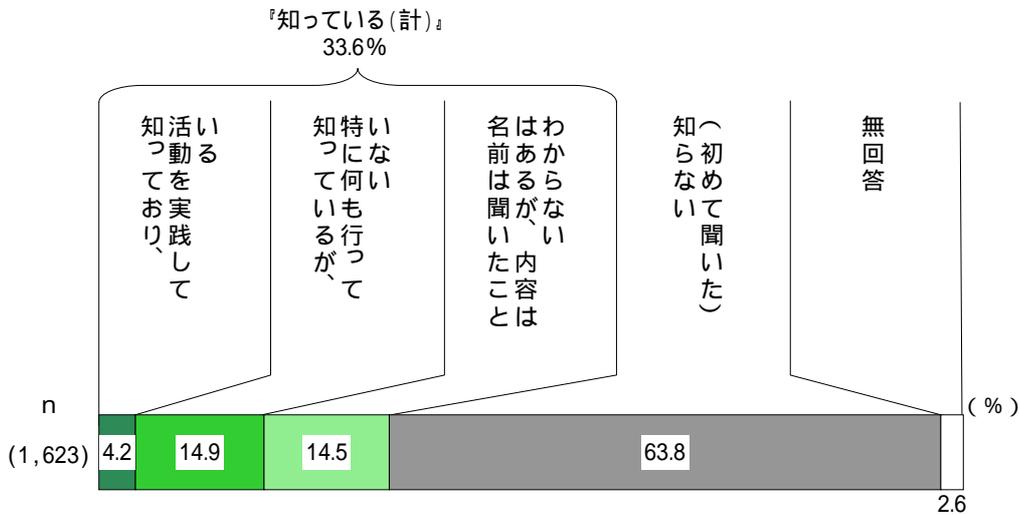


## 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」

「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知度では、『知っている』人が33.6%を占め、特に高い年代で認知度が高くなっています。また、地域の変化についての評価では、『減っている』と感じているのは、【ゴミやタバコのポイ捨て】が52.0%、【放置自転車】が48.8%と高く、区政への参加・協力意向では『参加・協力したい』人が52.6%を占めています。

### 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知度

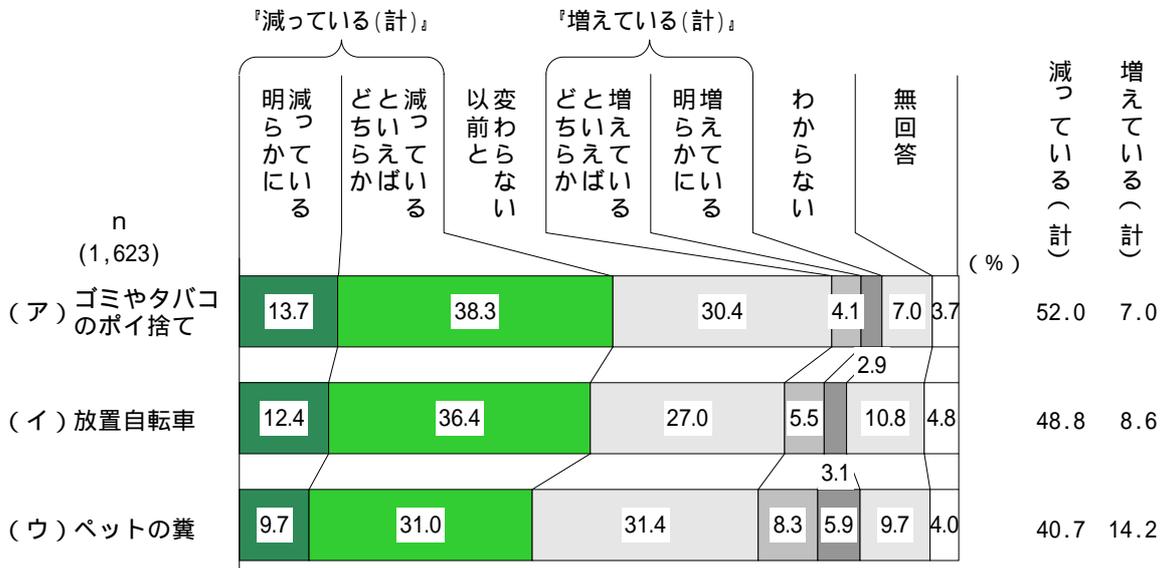
- ・『知っている』人は33.6%にとどまっています



「ビューティフル・ウィンドウズ運動」とは「美しいまち」を印象付けることで犯罪を抑止しようという足立区独自の運動です。区は、警視庁や区民のみなさんと協働して、まちの美化活動や防犯パトロールなどの取り組みを推進し、犯罪のない住みよいまちの実現をめざしています。

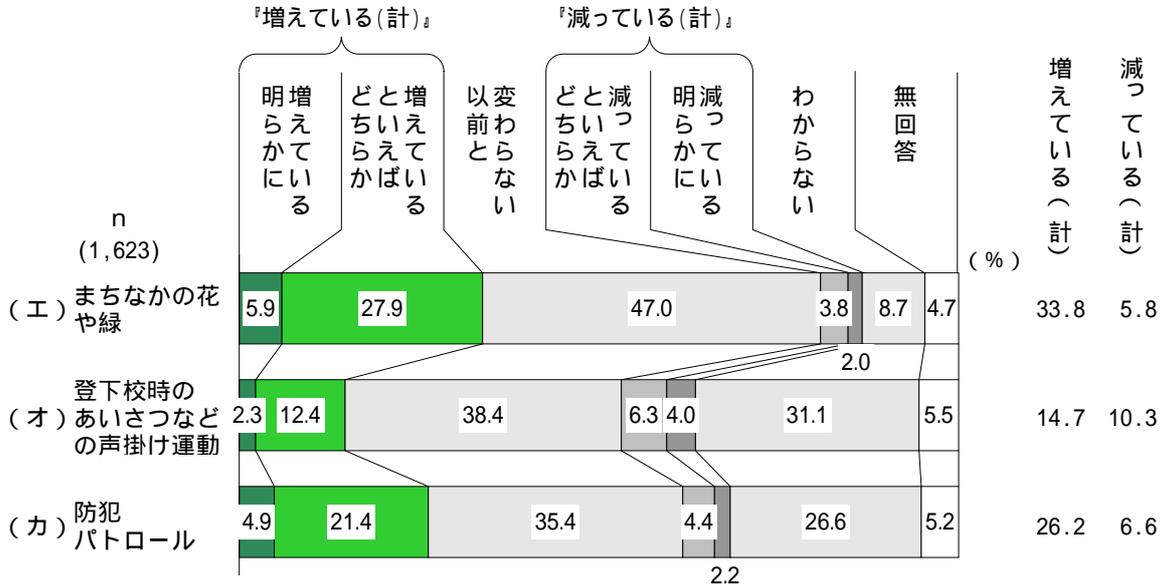
### 地域の変化についての評価(1)

- ・『減っている』と感じているのは、【ゴミやタバコのポイ捨て】が52.0%、【放置自転車】が48.8%となっています



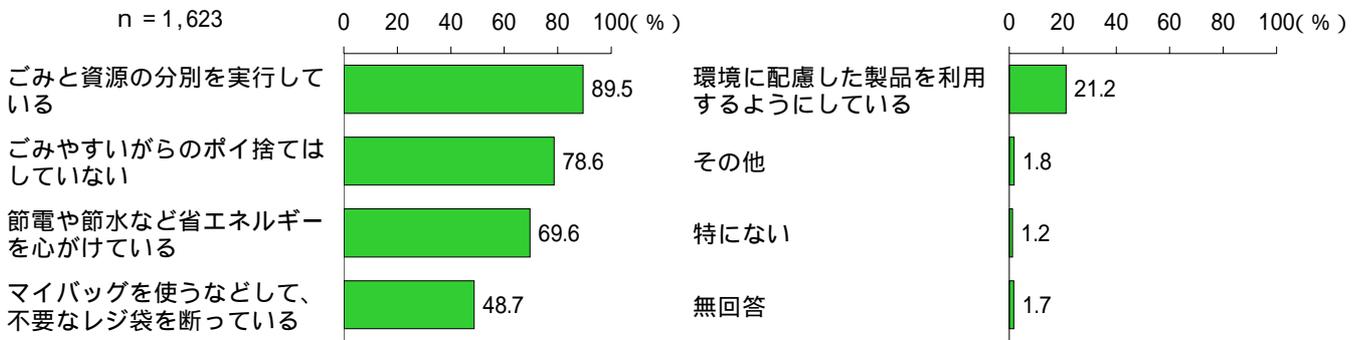
## 地域の変化についての評価（２）

- 『増えている』と感じているのは、【まちなかの花や緑】が33.8%、【防犯パトロール】が26.2%となっています



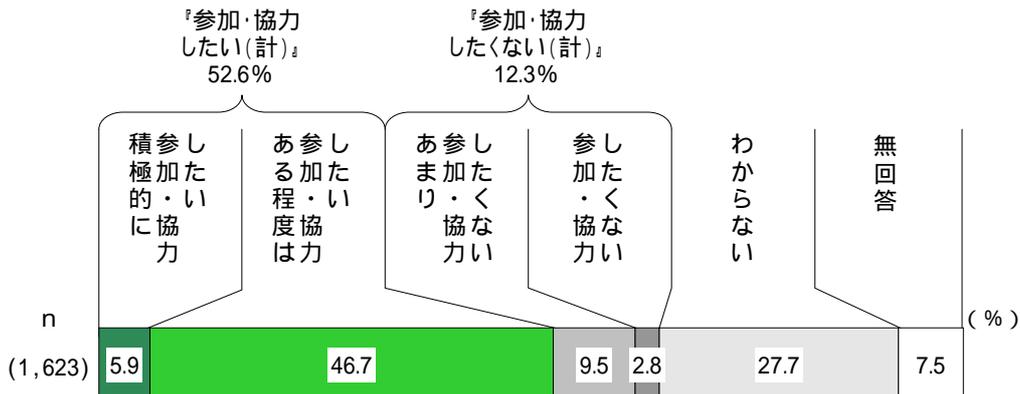
## 環境のために心がけていること（複数回答）

- 「ごみと資源の分別を実行している」人が89.5%で最も高くなっています



## 区政への参加・協力意向

- 『参加・協力したい』人が52.6%を占めています

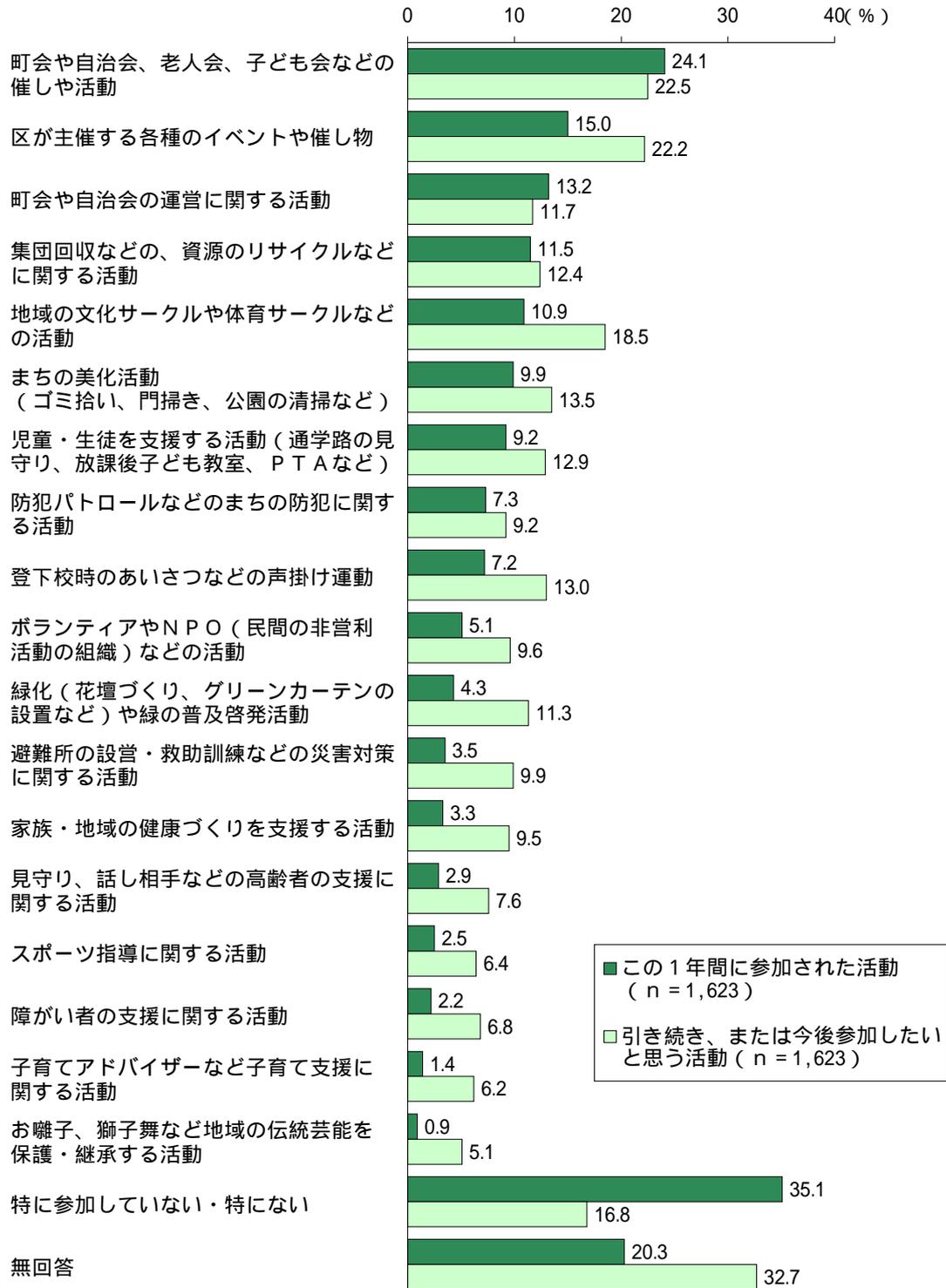


### この1年間に参加された活動（複数回答）

- ・「町会や自治会、老人会、子ども会などの催しや活動」が24.1%で最も高くなっています

### 引き続き、または今後参加したいと思う活動（複数回答）

- ・「町会や自治会、老人会、子ども会などの催しや活動」が22.5%、「区が主催する各種のイベントや催し物」が22.2%で高くなっています

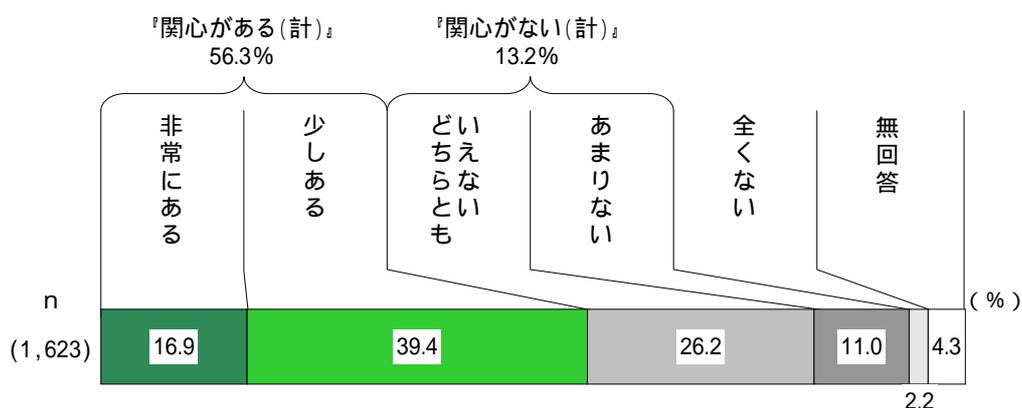


## 人権

人権についての関心では、『関心がある』人が56.3%を占め、男性の方が女性よりも関心が高くなっています。また、男女の地位の平等感では、『男性の方が優遇』と感じる人が49.7%を占め、特に女性で感じている人が多くなっています。

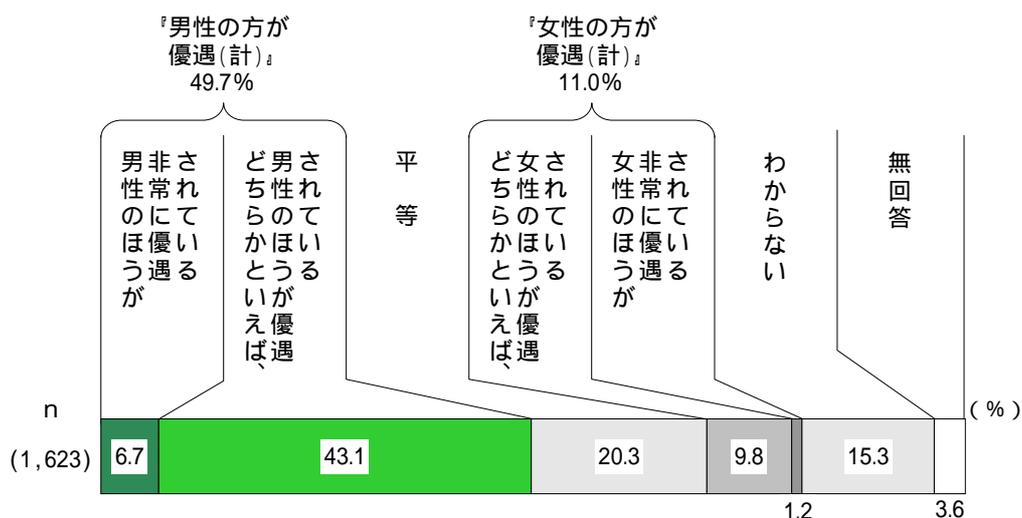
### 人権についての関心

- ・『関心がある』人が56.3%を占めています



### 男女の地位の平等感

- ・『男性の方が優遇』と感じる人が49.7%を占めています

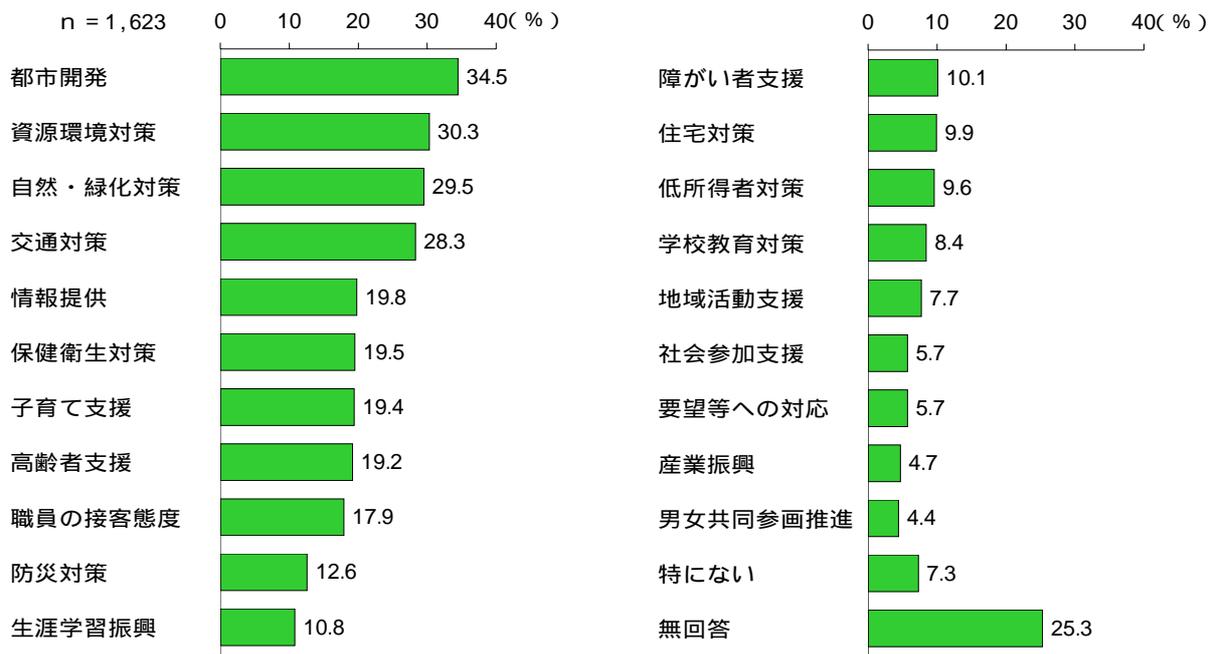


## 区 政

以前と比べてよくなったと思う区の取り組みでは、「都市開発」が34.5%で最も高く、「資源環境対策（30.3%）」、「自然・緑化対策（29.5%）」と続いています。今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組みでは、「交通対策（33.6%）」、「高齢者支援（33.1%）」に続いて、「防災対策（28.8%）」が前年比で12.0ポイント増と急増しています。

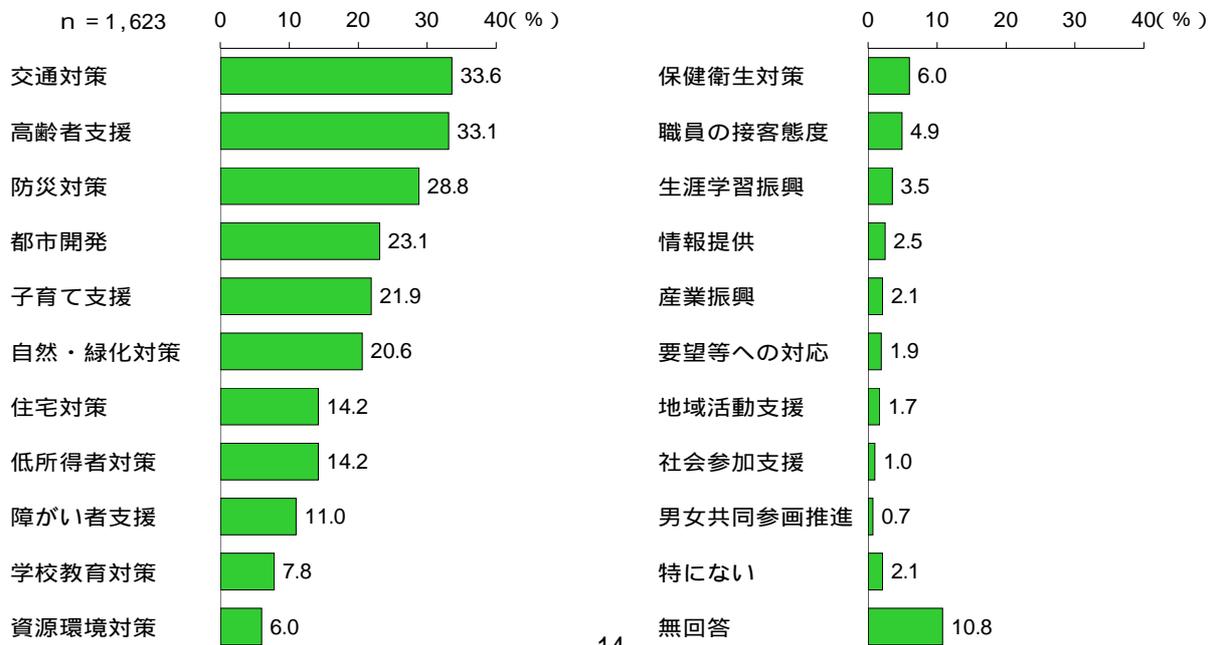
### 以前と比べてよくなったと思う区の取り組み（複数回答）

- ・「都市開発」が34.5%で最も高くなっています



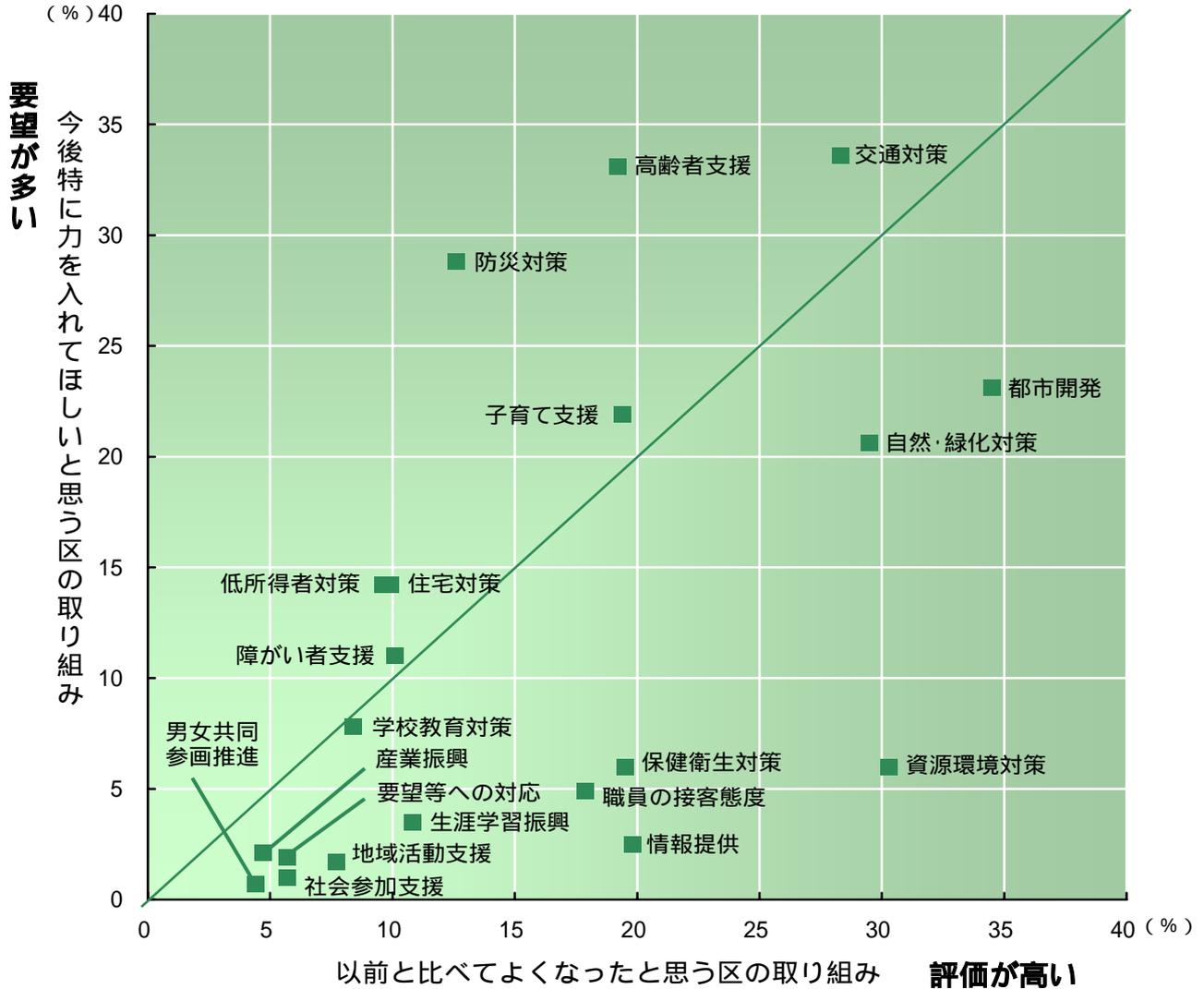
### 今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み（は3つまで）

- ・「交通対策（33.6%）」、「高齢者支援（33.1%）」に続いて、「防災対策（28.8%）」が急増しています



## 取り組みについて<評価と要望の比較対照>

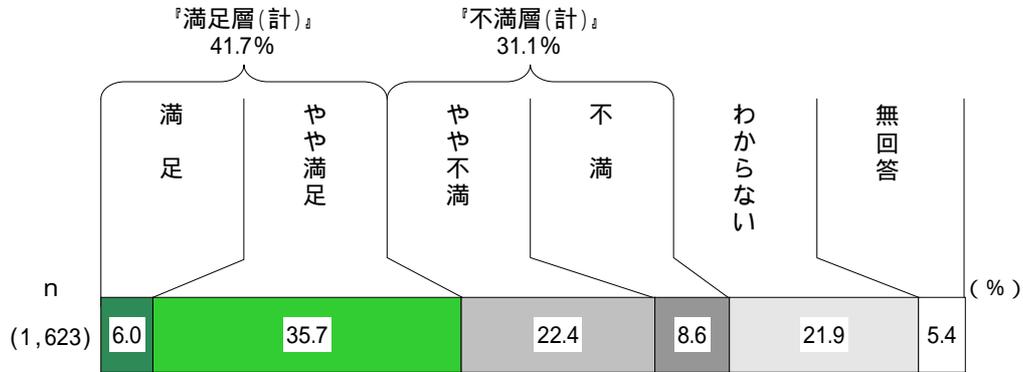
- ・特に「交通対策」、「高齢者支援」、「防災対策」で、今よりもさらに力をいれてほしいと思う人が多くなっています



区の取り組み	内 容	区の取り組み	内 容
都 市 開 発	開発・再開発、美しい街並みや景観づくりなど	生 涯 学 習 振 興	文化・芸術・スポーツ活動の支援、施設の充実など
資 源 環 境 対 策	省エネルギー、ごみ処理、リサイクルなど	障 が い 者 支 援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、就労支援など
自 然 ・ 緑 化 対 策	公園や緑地、河川の整備など	住 宅 対 策	良質な住宅の供給支援など
交 通 対 策	道路や交通網の整備、交通安全対策など	低 所 得 者 対 策	生活の援助や自立支援など
情 報 提 供	広報やホームページなどによる区政情報の提供など	学 校 教 育 対 策	教育内容の充実、施設の改修など
保 健 衛 生 対 策	健康づくり、健康診査、生活衛生など	地 域 活 動 支 援	町会・自治会活動の支援、青少年の健全育成など
子 育 て 支 援	保育サービス、子ども医療費助成や子育て相談の充実など	社 会 参 加 支 援	NPOやボランティアの育成や支援など
高 齢 者 支 援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、生きがい対策など	要 望 等 へ の 対 応	区民の声、担当課あてメールなどによる要望への対応など
職 員 の 接 客 態 度	窓口や仕事での区民対応における接客態度など	産 業 振 興	商工業の支援、企業起こしの支援、消費者対策など
防 災 対 策	防災活動の充実、都市の不燃化など	男 女 共 同 参 画 推 進	男女が平等に社会参加できるしくみづくりなど

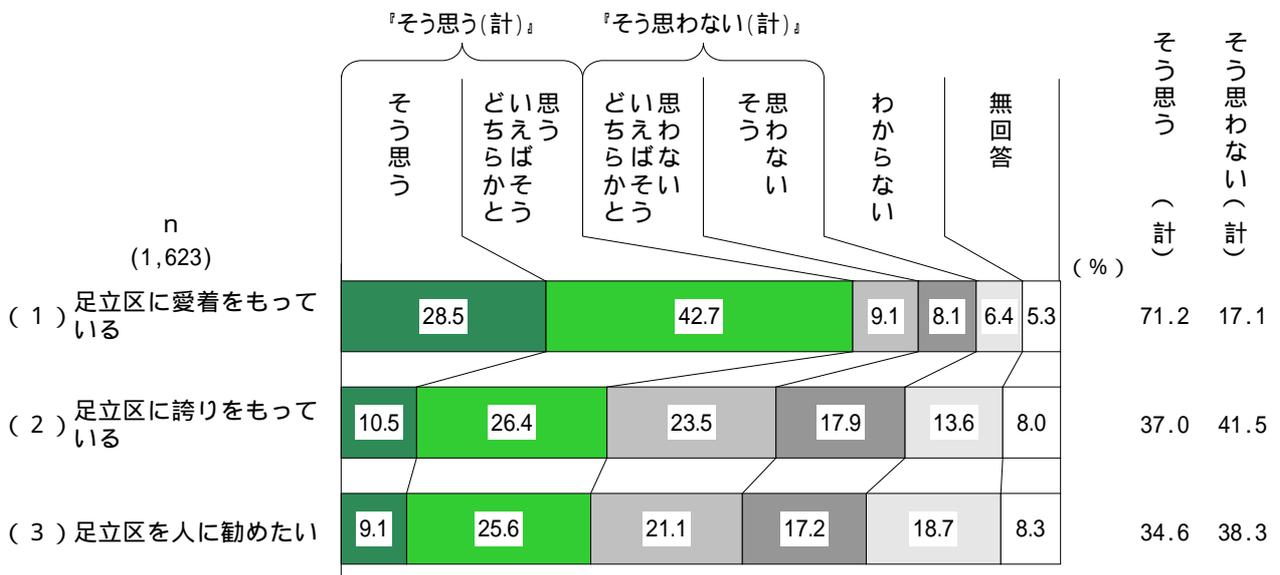
## 区政に対する満足度

- 『満足層』が41.7%、『不満層』が31.1%となっています



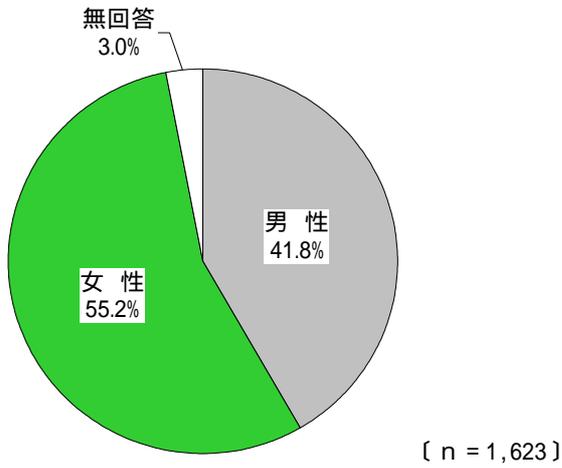
## 区に対する気持ち

- 【足立区に愛着をもっている】と思う人が71.2%を占めています
- 一方、【足立区に誇りをもっている】と思わない人が41.5%、【足立区を人に勧めたい】と思わない人が38.3%におよんでいます

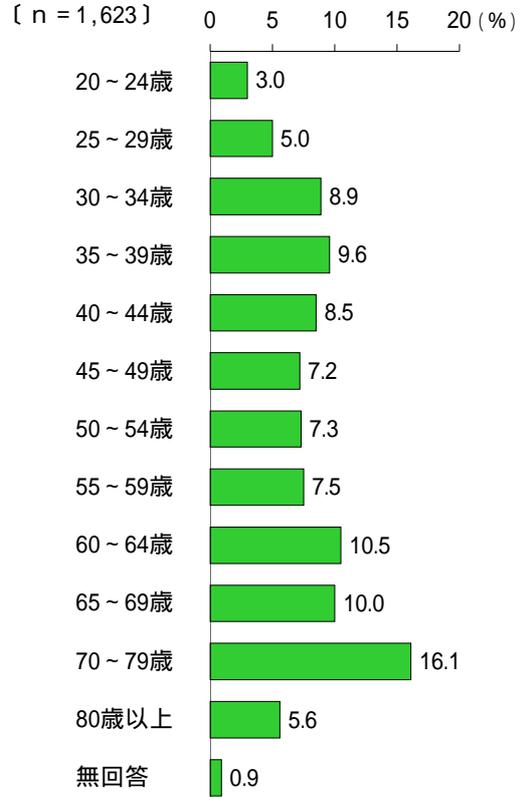


# 標本構成

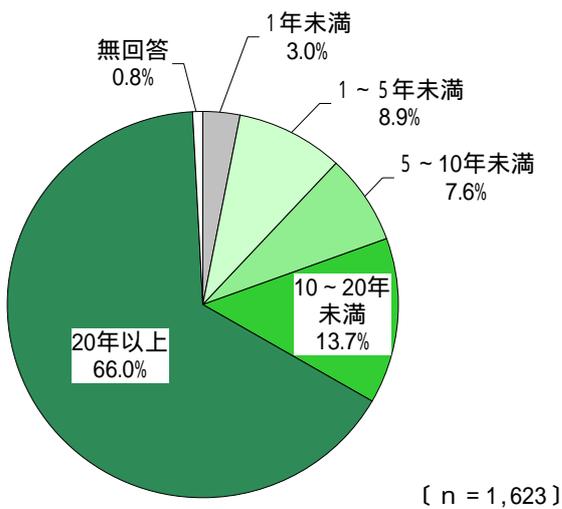
## 性別



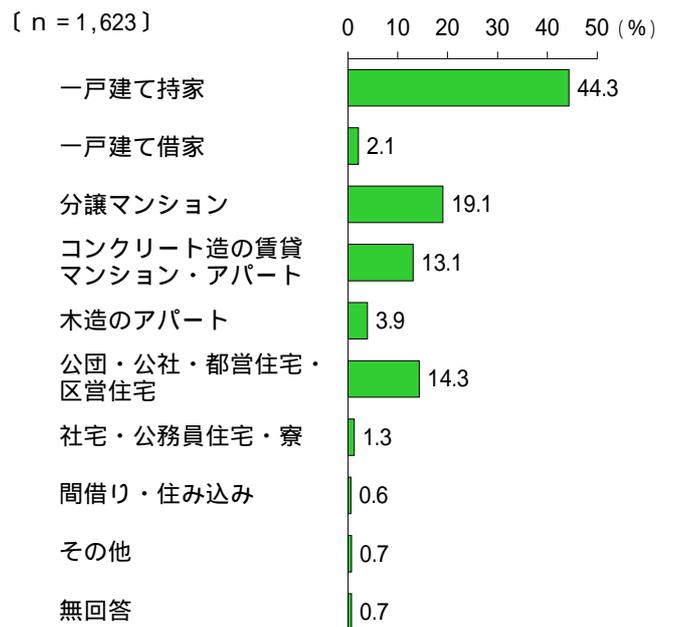
## 年齢



## 居住年数

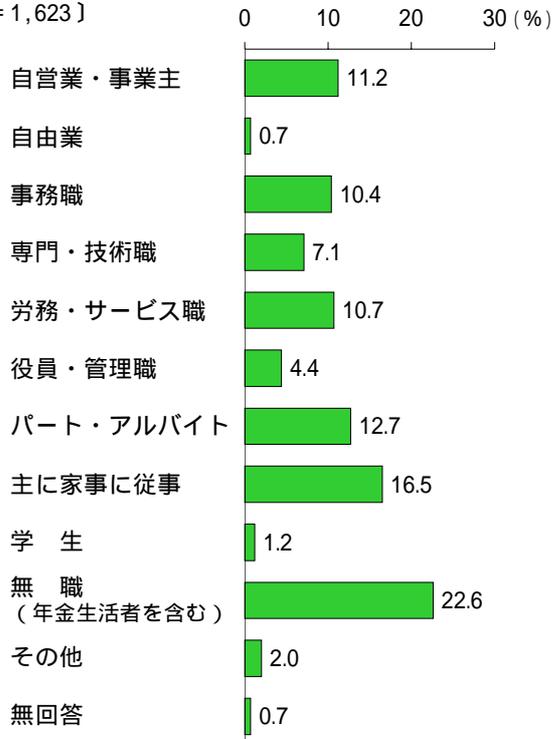


## 住居形態

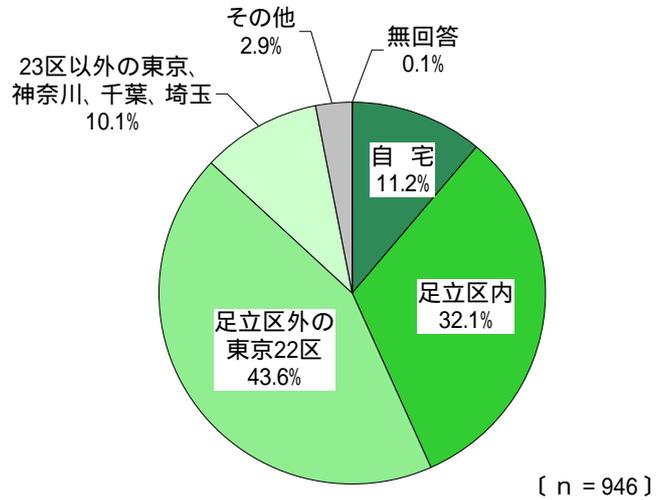


## 職業

[ n = 1,623 ]

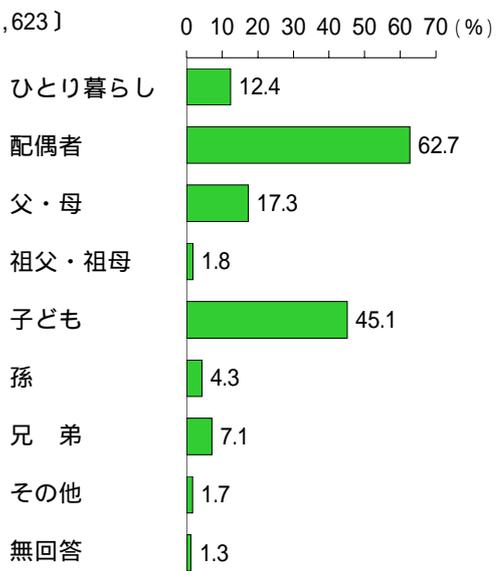


## 就労(就学)場所



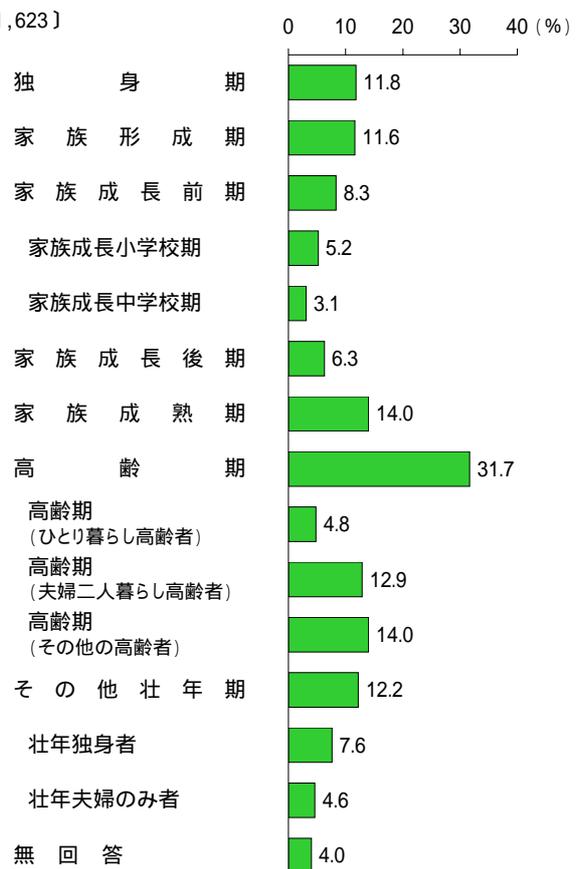
## 同居家族

[ n = 1,623 ]



## ライフステージ

[ n = 1,623 ]



足立区の面積 53.20km<sup>2</sup> (23区中3番目の広さ)

人口 668,730人

世帯 321,650世帯

\*平成24年1月1日現在



- |         |   |  |
|---------|---|--|
| 区の木     | さくら   | (平成4年制定)   |
| 区の花     | チューリップ  | (平成4年制定)   |
| シンボルマーク |  | (平成3年制定、足立区の『A』をもとに、水と緑、都市と人間、自然などとの調和と未来への飛躍を表現しています) |



## 足立区政策経営部広報室長付区民の声相談課

〒120-8510 東京都足立区中央本町1-17-1

TEL 03(3880)5111(代)

世論調査報告書の《概要版》、本編、《集計表》は足立区ホームページでもご覧いただけます。  
ホームページアドレス<http://www.city.adachi.tokyo.jp> 足立区政策経営部広報室長付区民の声相談課